



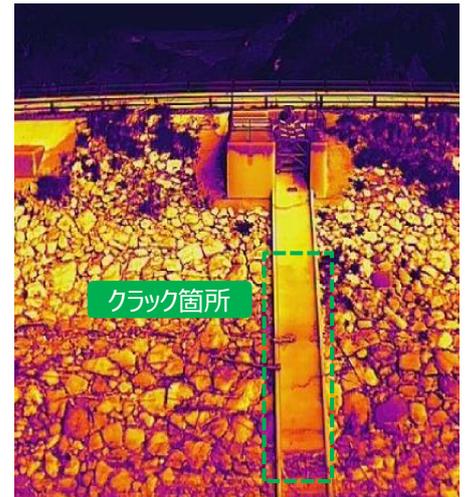
特別賞



危険個所での点検



RTK自動飛行



赤外線カメラ（クラック）

農業農村
分野新技術（ドローン）を活用した
農業水利施設の管理省力化検討

取組概要

大分県内北部に位置する改良区及び改良区連合が通常行っている農業用水利施設の日常管理に、ドローン等新技術を活用し得られた画像データ等を地理情報システム（水土里情報）に蓄積・利用することにより、施設管理の省力化・高度化を推進するための検討を実施した。

受賞理由

施設管理の省力化・高度化を推進するための検討を実施しており、水路（線的施設）では約30～50%の時間短縮、頭首工・ダム（点的施設）では約50%の時間短縮が可能。点検時間の短縮や点検者の安全性の向上につながる点が評価された。

取組のポイント

管理者は、水路（線的施設）や頭首工等（点的施設）施設状況の日常点検は見回り等により実施しており、多大な労力を要していた。今回、2種類のドローン（GPS手動飛行、RTK自動飛行）及び赤外線カメラを用いて、日常点検の省力化・高度化がどのようなケースで図られるか実証調査を行い、取組を推進するもの。

受賞者について

受賞者

大分県土地改良事業団体連合会

コメント

この度は大変名誉ある特別賞（農林水産省）を頂き光栄に存じます。

現在、地域農業を支える土地改良施設の日常管理・点検は、土地改良区等の見回りにより行われており、多大な時間を要するほか危険箇所もあることから苦慮しています。

本実証の結果、ドローン（UAV）を活用することで時間短縮等省力化・高度化が図れることから、管理者による施設の適正な管理と長寿命化に取り組むことができるよう支援して参ります。

団体概要

本会は、農業農村整備事業を行う土地改良区や市町村を会員とする公法人で、事業を適正かつ円滑に進めることができるよう、ニーズに対応した技術支援、協力及び調査研究や研修会、情報提供など行っています。

問い合わせ先

大分県土地改良事業団体連合会
総務部 情報管理課
TEL097-536-3921